

令和4年（2022年）9月8日

令和5年度教員採用において「ダイバーシティ枠」公募を18件実施 ～ ダイバーシティの実現に向けて～

【本件のポイント】

- 2022年4月1日～2026年3月31日までの4年間で、教員に占める女性割合を18.5%以上とする
- 2022年4月1日～2026年3月31日までの4年間で、管理職（課長級以上）に占める女性割合を20%以上とする
- すべての学生と教職員が性別にかかわらず個性と能力とを發揮できる大学づくりを目指す



【概要】

山形大学では、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進するために、令和2（2020）年4月からの10年間の行動計画として、「山形大学男女共同参画基本計画（第2次）」（※1）を策定し、「令和11（2029）年度までに女性教員比率を20%以上にする」という目標を掲げています。また、令和4（2022）年4月に定めた「国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画」（※2）では令和8（2026）年3月までの4年間で「教員に占める女性割合を18.5%以上とする」及び「管理職（課長級以上）に占める女性割合を20%以上とする」ことを目指しています。

令和4年5月現在の女性教員比率は17.91%、女性管理職比率は12.66%にとどまっているのが現状です。このような状況から、令和5年度に採用予定の教員に関して「ダイバーシティ枠」として「女性限定」公募を18名で実施（予定も含む）、「経営人材育成方針」に基づき「学長補佐制度」等により女性を含めた将来の経営を担う人材の戦略的かつ計画的な育成、女性研究者や女性管理職をはじめとする教職員の就労と家庭生活との両立支援のための各種支援制度などの取り組みを進め、すべての学生と教職員が性別にかかわらず個性と能力とを發揮できる大学づくりを推進してまいります。

【教員に占める女性割合・管理職(課長級以上)に占める女性割合】

	教員に占める女性割合	管理職(課長級以上)に占める女性割合
令和2年5月1日現在	15.95%	16.05%
令和4年5月1日現在	17.91%	12.66%

【教員に占める女性割合(部局別)】（令和4年5月1日現在）

部局	割合
人文社会科学部	18.18%
地域教育文化学部・大学院教育実践研究科	26.76%
理学部	12.16%
医学部・大学院医学系研究科・附属病院	23.25%
大学院理工学研究科・大学院有機材料システム研究科	7.19%
農学部	15.63%
学士課程基盤教育機構	33.33%
その他（法人本部等）	16.13%
合計	17.91%

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【参考資料 URL】

※1 山形大学男女共同参画基本計画（第2次）

(<https://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/modules/xelfinder/index.php/view/1094/kihonkeikaku2-2.pdf>)



※2 国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画

(<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/files/7416/4801/6982/2022woman.pdf>)



お問い合わせ

総務部総務課秘書広報室担当

TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp